

チップクリーニングキット-RA(P/N 292-35925-91)は
Cleaning Solution-RA を含む。

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: クリーニング液-RA (Cleaning Solution-RA)

供給者の会社名称: 株式会社島津製作所
担当部門: 分析計測事業部臨床・微生物検査ビジネスユニット
住所及び電話番号: 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1
075-823-1351

FAX 番号、Web サイト: 075-823-1364、www.shimadzu.co.jp

推奨用途及び使用上の制限: 研究用試薬。医療行為や診断目的には使用不可。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類: 引火性液体 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B
発がん性 区分 1A
生殖毒性 区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2(中枢神経系)
区分 1(肝臓)

GHS ラベル要素: 絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

危険

危険有害性情報: H225 引火性の高い液体及び蒸気
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H350 発がんのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H372 長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害
H373 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き: 【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
P312 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
P314 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
P370+P378 火災の場合:消火するために消火器を使用すること。
【保管】 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。
【廃棄】 P501 内容物/容器を都道府県、又は市町村の規則に従い廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名: エタノールを含む溶液

成分及び濃度又は濃度範囲:

成分	CAS 番号	重量%
エタノール	64-17-5	64.7
水	7732-18-5	34.6

4. 応急措置

吸引した場合: 空気の新鮮な場所に移し安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合: 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流す。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませた後吐かせ、医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状: 頭痛、昏睡、吐き気。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 霧状水、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
火災時の特有危険有害性: 加熱により容器が爆発するおそれがある。
燃焼により生成する煙、蒸気またはガス(一酸化炭素)
特有の消火方法: 周辺火災の場合、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
屋内の場合、回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項: 危険でなければ漏出を防ぎ、完全に拭き取る。環境に流出しないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:漏出時はウェス、乾燥砂等に吸収させて、密閉できる容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、保護具を着用する。
局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項: 漏出、飛散などしないように、使用後は速やかに容器を密閉する。
容器を転倒、落下させ、または衝撃を加える等の扱いをしない。
衛生対策: 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管: 直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度: 設定されていない

管理濃度:	日本産業衛生学会 設定されていない ACGIH(TWA/STEL) 1000ppm(エタノール)
設備対策:	洗眼のための設備を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具:	—
手の保護具:	保護手袋
目の保護具:	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	無色、透明の液体
臭い:	特有臭
pH:	8.9 (25°C)
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	78°C
引火点:	<23°C
蒸発速度:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重(相対密度):	データなし
溶解度:	易溶
自然発火温度:	363°C(エタノール)
分解温度:	データなし
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	危険な反応は起きない
安定性:	常温常圧で安定
危険有害反応可能性:	蒸気は空気とよく混合し、爆発性混合気体を形成しやすい。
避けるべき条件:	酸化性物質。熱、炎、火花、裸火、高温表面などの着火源。

11. 有害性情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

【エタノールに関する有害性情報】

急性毒性:	経口 区分に該当しない:毒性値 LD50=6200mg/kg 含有率 64.7% 経皮 区分に該当しない:毒性値 LD50=20,000 mg/kg 含有率 64.7% 吸入:気体 分類対象外:GHS 定義による気体ではない 吸入:蒸気 区分に該当しない:LC50=63,000 ppmV 含有率 64.7% 混合物の ATEmix(急性毒性推定値) 区分 5 に該当(出典:NITE) 吸入:粉じん,ミスト 区分に該当しない(分類対象外)
皮膚腐食性・刺激性:	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	濃度限界(10%)以上のため区分 2B に該当 危険有害性情報:H319 強い眼刺激
呼吸器感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	エタノール: ≥0.1%のため区分 1A に該当 危険有害性情報:H350 発がんのおそれ
生殖毒性:	エタノール: ≥0.3%のため区分 1A に該当 危険有害性情報:H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
特定標的臓器(単回ばく露):	エタノール:濃度限界(20%)以上のため区分 3(気道刺激性、麻酔作用)に該当する。

特定標的臓器(反復ばく露): 危険有害性情報:H335 呼吸器への刺激のおそれ。
エタノール:濃度限界(10%)以上のため区分2(中枢神経系)に該当する。
エタノール:濃度限界(10%)以上のため区分1(肝臓)に該当する。
危険有害性情報:H372 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、肝臓の障害

誤えん有害性: 動粘性率が不明のため分類できない

12. 環境影響情報

本製品(混合物)に関するデータなし。

【エタノールに関する環境影響情報】

水生環境有害性 短期(急性): エタノール:区分に該当しない
混合物:毒性未知成分を<0.7%含有しているため分類できない

水生環境有害性 長期(慢性): エタノール:区分に該当しない
混合物:毒性未知成分を<0.7%含有しているため分類できない

生態毒性(急性): 魚類(ファットヘッドミノー) LC50/96H > 100mg/L
甲殻類(ネコゼミジンコ) LC50/96H = 5012mg/L
藻類(クロレラ) EC50/96H = 1000mg/L

残留性・分解性: データなし

生体蓄積性: データなし

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装: 内容物を除去した後、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上規制情報: UN-1170, Class3, Packing group: II
海上規制情報: UN-1170, Class3, Packing group: II
航空規制情報: UN-1170, Class3, Packing group: II

国内規制

陸上規制情報: 消防法の規定に従う。
海上規制情報: UN-1170, Class3, Packing group: II
航空規制情報: UN-1170, Class3, Packing group: II
特別な安全対策: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法: 危険物第四類 アルコール類 危険等級II 水溶性
労働安全衛生法: ラベル表示・SDS 交付義務対象物質(別表第9の61)
危険物・引火性の物

化学物質排出把握管理促進法、毒物及び劇物取締法: 非該当

16. その他の情報

引用

- 1) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果; http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html
- 2) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP); http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
- 3) 経済産業省 GHS 混合物分類判定システム ver.6.0 (国連 GHS 文書改訂 6 版、JIS Z7252:2019 対応)

4) (独)製品評価技術基盤機構 GHS 混合物分類判定ラベル作成システム (NITE=Gmiccs Version 2.0.13)

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改定されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料や文献などの情報に基づいて作成しておりますが、記載の含有量、物理化学的性質等の数値や評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り図を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合は、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上取扱い願います。